

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

令和3年 7月9日	
所属部局・職	野生動物研究センター・修士課程学生
氏名	杉元 拓斗

<b>1. 派遣国・場所</b> (〇〇国、〇〇地域)	
日本、犬山市	
<b>2. 研究課題名</b> (〇〇の調査、および〇〇での実験)	
野生動物・動物園化学基礎論	
<b>3. 派遣期間</b> (本邦出発から帰国まで)	
令和3年 7月 3日 ~ 令和3年 7月 5日 (3日間)	
<b>4. 主な受入機関及び受入研究者</b> (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)	
日本モンキーセンター、キュレーター、新宅勇太氏	
<b>5. 所期の目的の遂行状況及び成果</b> (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)	
<p>写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くしてください。</p> <p>今回の実習では、まず1日目に来園者調査を行い、1種の動物をどのくらい、そしてどこに着目して観察するのかを調べた。この調査の結果、隣に他の種が見えている場合では観察時間が短くなることが分かった。また、私自身はシロガオサキを対象にしたが、書籍化したことに対する注目が多く、ほとんどの人がシロガオサキ自体にはあまり興味を示さなかった。このことから、動物のアイドル化の問題点がよくあらわれていると思った。</p> <p>2日目の午前中は、消防ホースでfeederを作ることで、環境エンリッチメントの重要性について学んだ。また、シシオザルのシッコクの11歳の誕生日を祝うために、豪華なプレートを自分たちで用意した。この過程で、動物園の動物の食べ物事情や飼育員の仕事について詳しく学ぶことができた。午後は、標本作成について、実際にリスザルの解体を見て学んだ。動物の骨や標本の保存方法を知ることができた。</p> <p>3日目の午前中は、動物病院でパタスモンキーの抜糸の様子を見ながら、麻酔の使用方法についてなどを学んだ。実際の様子を見たことがなかったため、貴重な経験となった。午後は、動物園展示について、実際に園内を回りながら学んだ。どういう展示が良いのかを自分の目で確かめることができた。</p> <p>この3日間の経験は、一般人に対する動物園の役割・動物園展示・動物園での種の保存に対し、具体的な方針を考える上で重要となるであろう。野生動物保全に関わるものとして、今後この経験を様々な場面で活かしていく予定である。</p>	
	
写真：シシオザルの誕生日祝い	
<b>6. その他</b> (特記事項など)	